

自然体験活動研修会開催

1 概要

平成25年10月19日(土)、碓石海岸レストハウス周辺において、当センター、気仙地方林業振興協議会及び大槌・気仙川流域森林・林業活性化センターの共催により、森林内等における自然体験活動指導者の育成を目的として、いわて森の達人等(19名)を対象に、自然体験活動研修会(以下、研修会という)を開催しました。

2 内容

今回の研修会は、公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会公認ネイチャーゲームインストラクターを講師に招き、ネイチャーゲーム入門講座として実施しました。ネイチャーゲームとは、遊びを通して自然の不思議や仕組みを学べる、大人も子どもも楽しめる環境教育プログラムであり、現在160種類以上の活動があります。

研修会では、次の活動を体験した後、講義でネイチャーゲームの理念等を学びました。

- (1) 「はじめまして」:ネイチャーゲーム流の自己紹介。
- (2) 「木をつくろう」:寝ている人は「根」、手を合せている人は「樹皮」など、みんなで木の部位の役割を演じる活動(図1)。
- (3) 「木の合う仲間」:まず気に入った木を見つけ、特徴を話して同じ木を気に入った仲間を見つける活動。
- (4) 「目かくし迷子」:目かくしして自然を直接体験する活動。
- (5) 「アースネーム」:自然からインスピレー

ションを受けて自分に新しい名前をつける活動(図2)。

3 成果と今後の予定

参加者は、楽しく活動を行う中で、今後の自然体験活動を指導するうえでのヒントを掴んでくれたことと思います。

研修会が好評であったことなどから、平成26年3月にはネイチャーゲームリーダー養成講座を予定するなど、継続的な自然体験活動を推進していきます。



図1 「木をつくろう」の様子



図2 「アースネーム」の振返りの様子